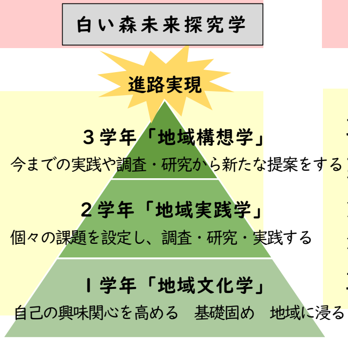
白い森人創生プロジェクト

研究開発の背景

小国町保小中高一貫教育の柱の一つである地域学習を、高校段階では「白い森未来探究学」という３年間の学びに発展させ、高校と地域がより密着した学びに発展させ、地元への愛着や誇りを養い、積極的に地域とつながり、地域活動に取り組む人材を育てることで、地域活性化の一躍を担う。

令和元年度の目標と取組状況・成果

保小中高一貫教育（国際・情報・地域学習）を活かした小中学校との連携による白い森学習（本町の地域学習）の段階的教育	コミュニティ・スクールの特性を活かした地域における実践的な主体との連携	地域外での表現・交流の機会を増やすことによる多様性の確保
1人1台ICT端末導入。「全国高等学校小規模校サミット(本校主体の実行委員会主催)」をオンラインで実施。高校生が中学生に白い森（地域）学習支援。 オンライン国際交流の実施。	白い森未来探究学は講座・フィールドワーク・校内発表、マイプロジェクトで地域をフィールドに実践。 インターンシップ実施。	地域協働活動(ビジネスプランコンテスト提案を実践【ブックマンション】、小論文最優秀賞1名特別賞2名、マイプロ山形大会入賞1名、地域みらい塾3名、ハタラトーーク~地域若手社員との対話~、パークゴルフなど)



今後の課題

☆白い森人（生徒・大人）の魅力的なカリキュラム開発　☆コンソーシアムの実効性を上げる仕組みづくり　☆自走に向けた資金確保